

外傷センター

■土田 芳彦 副院長，外傷センター長

日本外傷学会専門医，日本整形外科学会専門医，
日本救急医学会専門医，日本手外科学会専門医，
日本外傷学会評議員，

日本マイクロサージャリー学会評議員，

日本骨折治療学会評議員，

北海道整形災害外科学会評議員，

AO Japan chapter 理事，臨床研修指導医

■村上 裕子 部長，副外傷センター長

日本整形外科学会専門医

■白川 哲也 医長

日本整形外科学会専門医

■綾部 真一 医長

日本整形外科学会専門医

■西田 匡宏 医長

日本整形外科学会専門医，臨床研修指導医

■長谷川 真之

日本整形外科学会専門医

■鈴木 崇史

■対比地 加奈子

■佐藤 亮

■佐々木 淳

■浦山 将司

■吉田 直樹

はじめに

札幌の地から鎌倉へ来て早3年が経過しました。
2015年は地下専用手術室3室の運用開始，東京西徳洲
会病院外傷センターの開設，外傷センター主催の骨
折コースの開催，また日本各地での重症四肢外傷セ
ミナー開催，神奈川周辺からの診療依頼などなど慌
ただしい1年でした。また外傷センタースタッフの各
先生には各々1~2編の論文を執筆いただき，来年への

足掛かりとなりました。

平成30年の「外傷センター棟」竣工まであと2年余
りです。しかし「ハコモノ」が出来たとしても，シ
ステムが不十分であったり，スタッフが一流でなけ
れば「存在価値」がありません。本年度以降に私が
力を入れるところは「診療を阻害する忌まわしい慣
習を排除し一流のシステムを構築すること」，「外
傷医療マニュアルを策定しスタッフ全員が理解・実
践すること」，そして「センター全体で25~30編以上
の論文を発表すること」です。

また本年は私自身が「重症四肢外傷治療マニユ
アル」を出版するべく尽力すべき年です。日本各地の
外傷整形外科医に分担執筆して頂いている部分も
多々ありますが，書物の統一性を出すために大胆に
修正を加える予定です。具体的症例を基にした解説
をふんだんに取り入れ，「日本重度四肢外傷医療」
のバイブルといたく存じます。

ところで，私は以前より「立川談志」に関する書
物や映像を鑑賞し，「外傷整形外科の世界」は「落
語の世界」に似ていると感じていました。落語の一
門には真打，二つ目，前座などの階層がありますが
師匠が認める基本を本当の意味で習得し，かつそれ
を自分の技として応用できなければ二つ目にはなれ
ません。外傷整形外科医も同様であり，二つ目は自
分の医療を他の医師へ伝える講演が出来ることが必
要です。さらに真打になるには弟子を取り，育てる
だけの力量が認められなければならないのです。

この施設の目的は，多くの「真打」を生み出すこ
とに他なりません。

診療実績 2013年~2014年

■全手術件数

2013年 475件

2014年 1,348件

■手術症例数

特殊領域	151件
手指切断	19件
指尖部損傷	19件
挫滅手	9件
上肢major切断	2件
四肢鋭利神経血管損傷	7件
上肢重症開放骨折	3件
下肢重症開放骨折	13件
四肢骨髄炎	7件
多発外傷／多発骨折	14件
ヘリコプター搬送	35件
四肢軟部組織欠損	18件
手指感染	5件
小児骨折／上肢	72件
手指切断	3件
鎖骨骨折	5件
上腕骨近位端骨折	2件
上腕骨骨幹部骨折	1件
上腕骨顆上骨折	22件
上腕骨外顆骨折	5件
上腕骨内側顆骨折	1件
Monteggia骨折	3件
前腕近位部骨折	1件
前腕骨骨幹部骨折	7件
Galeazzi骨折	2件
前腕骨遠位部骨折	14件
手舟状骨折	1件
手指骨骨折	5件
小児骨折／下肢	9件
大腿骨骨幹部骨折	1件
脛骨近位部骨折	1件

脛骨骨幹部骨折	2件
脛骨遠位部骨折	4件
足部損傷	1件

成人手	140件
成人上肢	392件
成人下肢	740件
骨盤・脊椎	35件

■ヘリコプター搬送 35件

手指切断	13件
指尖部損傷	3件
挫滅手	5件
上肢major切断	1件
四肢鋭利神経血管損傷	4件
上肢重症開放骨折	3件
下肢重症開放骨折	4件
多発外傷／多発骨折	1件
四肢軟部組織欠損	1件

学術業績

(1) 論文発表

1. 土田芳彦:開放骨折と急性期合併症（コンパートメント症候群など）に対する治療. MB Orthop 26(11): 1-5, 2013.
2. 土田芳彦:整形外科における外傷医療の問題点. 北海道整形災害外科学会雑誌 55(1): 24-26, 2013.
3. 土田芳彦:最大でも2回で完了するデブリドマンによるGustilo IIIB下腿開放骨折治療. 日本創外固定・骨延長学会雑誌 25: 41-46, 2014.
4. 土田芳彦:皮膚欠損を伴う脛骨開放骨折の治療—応急処置とdefinitive surgery（シンポジウム整形外科外傷治療の進歩）. 臨床整形外科

49(4):325-332, 2014.

(2) 学会発表

1. 佐藤亮¹⁾, 土田芳彦¹⁾, 鈴木崇史¹⁾, 新井学¹⁾, 綾部真一¹⁾, 村上裕子¹⁾, 最上敦彦²⁾. 湘南鎌倉総合病院 外傷センター¹⁾, 順天堂大学医学部 附属静岡病院²⁾:ドクタージェットヘリにより長距離搬送された重度下腿開放骨折の1例. 第149回神奈川整形災害外科学会, 神奈川, 2013, 10.
2. 鈴木崇史, 土田芳彦, 佐藤亮, 綾部真一, 村上裕子:小児重度下肢外傷の治療経験. 第149回神奈川整形災害外科学会, 神奈川, 2013, 10.
3. 土田芳彦:整形外科外傷センターの現状と展望. 第27回日本外傷学会, 福岡, 2013, 5.
4. 土田芳彦:重症四肢外傷に対するMicrosurgery修練の問題点. 第27回日本外傷学会, 福岡, 2013, 5.
5. 土田芳彦:多発外傷に伴う重度下肢開放骨折の治療. 第39回日本骨折治療学会, 福岡, 2013, 6.
6. 土田芳彦:日本における外傷センターの理想型～外傷センターの制度化は可能か. 第26回東日本整形災害外科学会, 軽井沢, 2013, 9.
7. 土田芳彦:外傷による巨大骨欠損の再建. 第26回東日本整形災害外科学会, 軽井沢, 2013, 9.
8. 綾部真一, 土田芳彦, 佐藤亮, 鈴木崇史, 新井学, 村上裕子:軟部組織再建, 骨欠損再建を要したGustilo type III C下腿開放骨折の一例. 第54回関東整形災害外科学会, 横浜, 2014, 3.
9. 新井学, 松村福広, 伴光正:外傷性全MTP関節開放脱臼の1例. 第39回日本足の外科学会学術集会, 宮崎, 2014, 11.
10. 新井学, 土田芳彦, 村上裕子:喫煙者における逆行性後骨間動脈皮弁に対するdelay procedure (症例報告). 第41回日本マイクロサージャリー学会学術集会, 京都, 2014, 12.
11. 浦山将司, 土田芳彦, 佐藤亮, 对比地加奈子, 鈴木崇史, 新井学, 小島安弘, 西田匡宏, 綾部真一, 白川哲也, 伴光正, 村上裕子, 松村福広:変形癒合のため高度可動域制限を生じたMilch type2上腕骨外科頸骨折の一例. 第152回神奈川整形災害外科学会, 神奈川, 2014, 10.
12. 小島安弘^{1) 2) 3)}, 石河利之²⁾, 里村健志^{1) 2)}, 永田純一¹⁾, 内藤正俊²⁾ 長崎県病院企業団 対馬いづはら病院 整形外科¹⁾, 福岡大学病院 整形外科教室²⁾, 湘南鎌倉総合病院 外傷センター³⁾:Charcot手関節に発症した異所性骨化により示指屈筋腱皮下断裂を生じた一例. 第57回日本手外科学会学術集会, 沖縄, 2014, 4.
13. 小島安弘^{1) 4)}, 里村健史¹⁾, 永田純一¹⁾, 市村竜治¹⁾, 小島隆治¹⁾, 山口卓哉²⁾, 石河利之³⁾, 土田芳彦⁴⁾, 長崎県病院企業団 対馬いづはら病院 整形外科¹⁾, 長崎県病院企業団 対馬いづはら病院 麻酔科²⁾, 福岡大学病院 整形外科教室³⁾, 湘南鎌倉総合病院 外傷センター⁴⁾:対馬におけるヘリ搬送外傷症例の検討～重度四肢・骨盤外傷を中心に～. 第28回日本外傷学会, 東京, 2014, 6.
14. Tsuchida,Y.: FIX and FLAP treatment for severe open fracture of the tibia. 第87回日本整形外科学会, 神戸, 2014, 5.
15. 土田芳彦:大規模骨欠損の補填・イリザロフ法(骨移動術)か血管柄付き骨移植術か. 第87回日本整形外科学会, 神戸, 2014, 5.
16. 土田芳彦:[シンポジウム]重度四肢損傷治療の現状と課題:重症下腿開放骨折における骨軟部組織再建のあり方. 第41回日本マイクロサージャリー学会, 京都, 2014, 12.
17. 伴光正, 松村福広, 土田芳彦:下肢切断におい

-
- て近位部を骨接合し下肢長，膝機能を温存した6症例の検討. 第54回関東整形災害外科学会，横浜，2014，3.
18. 伴光正，松村福広，新井学：距骨後方突起骨折 Entire posterior process fractureの1例. 第39回日本足の外科学会学術集会，宮崎，2014，11.
 19. Matsumura,T.:Conversion method from external fixation to internal fixation for femur and tibia open fractures. The87th Annual Meeting of The Japanese Orthopaedic Association，神戸，2014，5.
 20. 松村福広：[ディベート]脛骨遠位部骨折—プレート固定. 第40回日本骨折治療学会，熊本，2014，6.
 21. 村上裕子：重度足関節，足部開放骨折に対する遊離広背筋皮弁の工夫. 第54回関東整形災害外科学会，横浜，2014，3.
 22. 村上裕子：重度上肢軟部組織損傷に対するAV loopを応用した遊離皮弁による再建の2例. 第41回日本マイクロサージャリー学会学術集会，京都，2014，12.
- (3) 著書・総説
1. 土田芳彦：手順&テクニック[外来で行う小手術]指の外傷(3)手指関節脱臼の処置. 整形外科 surgical technique：手術が見える・わかる専門誌 3(6):704-708，2013.
 2. 土田芳彦：上肢の外傷[特集]整形外科疾患の病態と診断・治療（Ⅱ・Ⅲ）. 医学と薬学 70(5・6):867-875，2013.
 3. 土田芳彦：上腕骨骨折に対するU字スプリントからファンクショナルブレースへ. 整形外科・骨折ギプスマニュアル日本骨折治療学会教育委員会編 62-676，2014.
 4. 土田芳彦：多発外傷患者における長管骨骨折に対する治療方針. 救急・集中治療 最新ガイドライン2014-15.
 5. 土田芳彦：外傷診療ALL IN ONE—実践力を身に付けよう 1.ERからORにつなげ Ischemia 虚血（救肢手術）「救肢はチャレンジ手術ではありません!」別冊ERマガジン11(1):53-58，2014.
 6. 土田芳彦：骨欠損を伴う開放骨折①—血管柄付き骨移植—特集：開放骨折の治療. 関節外科 33(6):647-651，2014.
 7. 土田芳彦：骨盤骨折に伴う軟部組織損傷の処置. 整形外科surgical technique 4(1):99-103，2014.
 8. 松村福広：大腿骨骨折の治療・ケアのポイント. 整形外科看護 19(8):30-36，2014.
 9. 松村福広：Stryker infos 21 Summer:35-38，2014.
 10. 松村福広：Stryker infos 22 Autumn:37-41，2014.
- (4) セミナー・研究会・講演会
1. 土田芳彦：血行再建術の基礎と実際・外傷再建マイクロ医となるための基礎／骨折を合併した上肢血管損傷 切断か温存か？第17回JOTS日本整形外傷セミナー，岐阜，2013，4.
 2. 土田芳彦：よくある骨折の最近の話題. 小樽市医師会労災部会講演会，小樽，2013，5.
 3. 土田芳彦：The 3rd Technical Learning Course for Fix and Flap Surgery，郡山，2013，6.
 4. 土田芳彦：「重症四肢外傷の治療」落とし穴がいっぱい. 沖縄県整形外科研修会，沖縄，2013，6.
 5. 土田芳彦：重度四肢外傷治療への思いと想い. 第5回JSETS日本重度四肢外傷セミナー，札幌，2013，7.
 6. 土田芳彦：構築しよう！機能再建型外傷センター. 第3回信州骨折治療フォーラム，長野，2013，7.
 7. 土田芳彦：重症四肢外傷治療のあり方. 第108回近畿救急医学研究会，大阪，2013，7.
 8. 土田芳彦：External fixation - Indications and
-

-
- techniques. /医療機器による放射線被爆の問題／開放骨折の治療/Acute posttraumatic:Postoperative infection. AOT Course Yokohama, 横浜, 2014, 8.
9. 土田芳彦:日本における Ortho plastic Surgery. Expert Ortho plastic Special Seminar, 東京, 2013, 9.
10. 土田芳彦:多発外傷における骨折治療／鎖骨骨折. 日本骨折治療学会教育研修会, 東京, 2013, 9.
11. 土田芳彦:血行再建術の基礎と実際／骨折を合併した上肢血管損傷. 第18回JOTS日本整形外傷セミナー, 山形, 2013, 10.
12. 土田芳彦:重症上肢外傷の治療. 第8回かみつけ上肢を熱く語る会, 前橋, 2013, 11.
13. 小島安弘, 土田芳彦, 綾部真一, 村上裕子:救済のために大網皮弁を用いた一例. 第3回重度四肢外傷microsurgery meeting, 京都, 2014, 12.
14. 土田芳彦:外傷治療における手外科医の関り方. 第28回東日本手外科研究会, 東京, 2014, 2.
15. 土田芳彦:Distal radial fractures—which to fix? How to fix? / Upper extremity fracture(case-based summary) / 開放骨折の治療. AOT Course Yokohama, 横浜, 2014, 2.
16. 土田芳彦:初期治療のあり方／軟部組織損傷の分類／患肢温存か切断かの判断. /軟部組織再建の考え方／創管理法 (NPWT) /術後管理のポイント／皮弁形成術が成功するポイント／上肢の皮弁／下肢の皮弁. SNWKK Ortho-Plastic Flap Seminar, 東京, 2014, 3.
17. 土田芳彦:重症四肢外傷治療のあるべき姿. 第27回日本創外固定・骨延長学会ランチョンセミナー, 大阪, 2014, 3.
18. 土田芳彦:広範囲骨欠損を伴う骨折に対する血管柄付き腓骨移植. 第57回JABO研修会, 東京, 2014, 3.
19. 土田芳彦:子供の怪我骨折. 厚木消防隊講演会, 厚木, 2014, 4.
20. 土田芳彦:治療法の実際～軟部組織修復の時期と方法／上肢開放骨折症例. 第19回JOTS日本整形外傷セミナー, 高松, 2014, 5.
21. 土田芳彦:Screw固定／Plate固定／髓内釘固定／脊椎損傷と骨盤骨折の治療. 手術室看護師のための整形外科外傷セミナーinTokyo, 東京, 2014, 5.
22. 土田芳彦:[重度開放骨折治療のあり方1] 初期治療, 分類, 温存か切断か/[重度開放骨折治療のあり方2] 軟部組織再建の考え方 (NPWT, 皮弁術) /皮弁形成術が成功するポイント. FIX and FLAP Management Seminar, 東京, 2014, 6.
23. 土田芳彦:重度開放骨折治療のいま. Ortho-Plastic Seminar, 東京, 2014, 6.
24. 土田芳彦:実は簡単な重度開放骨折治療. 日本骨折治療学会教育研修講演, 熊本, 2014, 6.
25. 土田芳彦:外傷治療における手外科医の関わり方. 秋田県手外科研究会, 秋田, 2014, 7.
26. 土田芳彦:What's New何が変わったのか? 「重度開放骨折の今」. 第1回JSETS日本重度四肢外傷シンポジウム, 札幌, 2014, 7.
27. 土田芳彦:重症開放骨折の標準的治療. Ortho-Plastic Seminar in岡山, 岡山, 2014, 7.
28. 土田芳彦:四肢骨盤外傷における救急処置のポイント. 湘南救急セミナー, 厚木, 2014, 8.
29. 土田芳彦:Distal radial fractures—which to fix? How to fix? /医療機器による放射線被爆の問題./開放骨折の治療. AOT Course Kobe, 神戸, 2014, 8.
30. 土田芳彦:Screw固定／テンションバンドワイヤ
-

-
- リング固定／髄内釘固定／創外固定. 第2回手術室看護師のための整形外科外傷セミナーin湘南, 藤沢, 2014, 8.
31. 土田芳彦: わたしが外傷整形外科専門施設を構築するわけ. 第10回北海道ER・ICU臨床研修セミナー, 札幌, 2014, 9.
32. 土田芳彦: 多発外傷における骨折治療. 日本骨折治療学会教育研修会, 東京, 2014, 9.
33. 土田芳彦: Welcome case presentation. / Debridment. Pitfalls of flap surgery. / Amputation or salvage. / Vascularized bone graft. KCI Gustilo III B Open Fracture Management Course, 東京, 2014, 9.
34. 土田芳彦: 橈骨遠位端骨折の治療 / Proximal humerus fracture. / Proximal ulnar, coronoid fractures. / Radial nerve palsy. / Bone loss in tibia. AO Trauma Course - Upper Extremity with Anatomical Specimens, 札幌, 2014, 9.
35. 土田芳彦: The 4th Technical Learning Course for Fix and Flap Surgery, 須賀川, 2014, 10.
36. 土田芳彦: Screw固定. / 髄内釘固定. 手術室看護師のための整形外科外傷セミナーin静岡, 静岡, 2014, 8.
37. 土田芳彦: Classifications and Vascular Anatomy of Flaps. / Clinical applications of Flaps in treatment of Orthopaedics Trauma. / Preoperative Planning and Technical Pearl. / Postoperative Care and Management of Complications. STEP (Surgical Technique Expert Program), Bangkok, 2014, 10.
38. 土田芳彦: 症例提示あなたならどうしますか? / デブリドマン. / 皮弁形成術の落とし穴. / 切断か温存かの判断. / 血管丙付き骨移植. 第1回重症開放骨折研究会, 東京, 2014, 11.
39. 土田芳彦: 重症開放骨折治療の標準化ー成績不良例を撲滅するための戦い. 第5回七隈Trauma Seminar, 福岡, 2014, 11.
40. 土田芳彦: デブリドマンのあり方 / 骨・軟部組織再建法のあり方. 第1回九州重度四肢外傷治療セミナー, 福岡, 2014, 11.
41. 土田芳彦: 肩甲骨骨折. The 1st Kamakura Orthopedic Trauma Master Meeting, 東京, 2014, 11.
42. 土田芳彦: 重症開放骨折治療のリスクマネジメント. 第3回重度四肢外傷microsurgery meeting, 京都, 2014, 12.
43. 土田芳彦: 重症開放骨折治療の標準化. 第3回和歌山創傷治療を考える会セミナー, 和歌山, 2014, 12.
44. 伴光正: プレート固定~Plate Fixation. 第2回手術室看護師のための整形外科外傷セミナーin湘南, 神奈川, 2014, 8.
45. 松村福広: ピロン骨折治療のコツとピットフォール. The 2nd Foot&Ankle Master Course, 大阪, 2014, 1.
46. 松村福広: 広範囲骨欠損症例への対応 / 大腿骨骨幹部開放骨折症例 / 髄内釘・創外固定の7技の実際とピットフォール. 第19回JOTS日本整形外傷セミナー, 高松, 2014, 5.
47. 松村福広: 骨折治療におけるプレート固定 / 髄内釘 / 創外固定ーそれぞれの良さを使い分けー. 第87回日本整形外科学会学術総会イブニングセミナー, 神戸, 2014, 5.
48. Matsumura, T.: Regional Faculty Fellow. AO Trauma Basic-Principles of Fracture Management, Manila, 2014, 5.
49. 松村福広: ケースディスカッションを活かすために重要な要素について. 第1回中国Trauma Open Conference, 岡山, 2014, 6.
50. 松村福広: 脛骨近位端骨折における髄内釘治療
-

-
- のコツと問題点. Kuntscher 75th Anniversary Symposium, 東京, 2014, 6.
51. 松村福広: 偽関節に対する治療戦略とそこから学ぶ初期骨折治療. 第5回”茶崖”Orthopaedic Seminar, 東京, 2014, 6.
52. 松村福広: 大腿骨遠位部骨折に対するMotion Lock screwを用いたNCB-DFによる内固定術. 第40回日本骨折治療学会イブニングセミナー, 熊本, 2014, 6.
53. 松村福広: ケースディスカッションを活かすために重要な要素について. 第2回Trauma Open Conference, 横浜, 2014, 7.
54. 松村福広: 骨折治療の最新基礎知識. 第9回両毛地区症例検討会, 群馬, 2014, 7.
55. 松村福広: What's New? 何が変わったのか? 「下肢関節内骨折の今」. 第1回JSETS日本重度四肢外傷シンポジウム, 札幌, 2014, 7.
56. 松村福広: Difficult case (偽関節) / 脛骨遠位部骨折の手術手技 - Plating Tips&Tricks. / 脛骨遠位部骨折のMIPO法テクニック. 11th Zimmer Trauma Course, 福岡, 2014, 8.
57. 松村福広: 上腕骨遠位端骨折 (顆上骨折). 第54回JABO研修会, 東京, 2014, 8.
58. Matsumura,T.The innate challenges and complications in fixing complex fractures of Proximal Femur,The innate challenges and complications of Distal Femur. Trauma Masterclass Faculty, Malaysia, 2014, 8.
59. Matsumura,T.Local Faculty. AO Trauma Course-Lower Extremity with Anatomical Specimens, 札幌, 2014, 9.
60. 松村福広: 開放骨折の初期治療 / 上腕骨骨折. 日本骨折治療学会研修会第9回ベーシックコース, 東京, 2014, 9.
61. 松村福広: 上腕骨近位部粉碎骨折一症例呈示. 日本骨折治療学会研修会第6回アドバンスコース, 東京, 2014, 9.
62. 松村福広: 遠位脛腓靭帯損傷に対するZIP TIGHTを用いた固定. 日本骨折治療学会研修会ハンズオン, 東京, 2014, 9.
63. 松村福広: Faculty. AO Trauma Starter Seminar, 長野, 2014, 10.
64. 松村福広: 高齢者の骨折治療～高齢者だからこそ妥協しない～. 第23回兵庫県骨折治療研究会, 神戸, 2014, 10.
65. 松村福広: 外傷患者の急性期医療管理. 第17回リハビリテーション研修会, 栃木, 2014, 10.
66. 松村福広: 難治性骨折への挑戦～気合と理論で機能回復をはかる～. 第4回岡山外傷カンファレンス, 岡山, 2014, 11.
67. 松村福広: 大腿骨頸部骨折の診断 / 大腿骨頸部骨折の主な合併症と対策 / 大腿骨頸部骨折骨接合術のピットフォール. 第1回大腿骨頸部・頸基部骨折治療セミナー, 東京, 2014, 11.
68. 松村福広: 偽関節および機能障害を生じさせない骨折の初期治療とリハビリテーション. 日本整形外科勤務医会鳥取県支部・鳥取県臨床整形外科医会, 米子, 2014, 11.
69. 松村福広: 大腿骨幹部骨折. The 1st Kamakura Orthopedic Trauma Master Meeting, 東京, 2014, 11.
70. 松村福広: Faculty. Zimmer Cadaver Course, Thai, 2014, 11.
71. 松村福広: ピロン骨折治療のコツとピットフォール. The 2nd Foot&Ankle Master Course, 大阪, 2014, 1.
72. 松村福広: 大腿骨遠位部骨折に対する髓内釘とプレート治療. Stryker Educational Seminar, 東京, 2014, 12.
73. 松村福広: 下肢開放骨折に対するプレート固定術
-

のKnack & Pitfalls. 第11回骨折治療を考える会, 大阪, 2014, 12.

74. 村上裕子: 三半救急における重度四肢外傷の適応と治療. 三半消防症例検討会, 横須賀, 2013, 10.
75. 村上裕子: 下腿Gustilo3B/Cの治療. 神奈川外傷を語る会, 神奈川, 2014, 3.

■カンファレンス

術前術後カンファレンス

毎週(月)～(土) 7時

■院内開催セミナー

手術室看護師のための整形外傷セミナーin湘南

2013年11月30日(参加75名)
